

褥瘡だより 42号

ふくの若葉病院 褥瘡対策委員会

令和5年4月

医療関連機器圧迫創傷とは？

医療関連機器圧迫創傷は褥瘡の仲間です

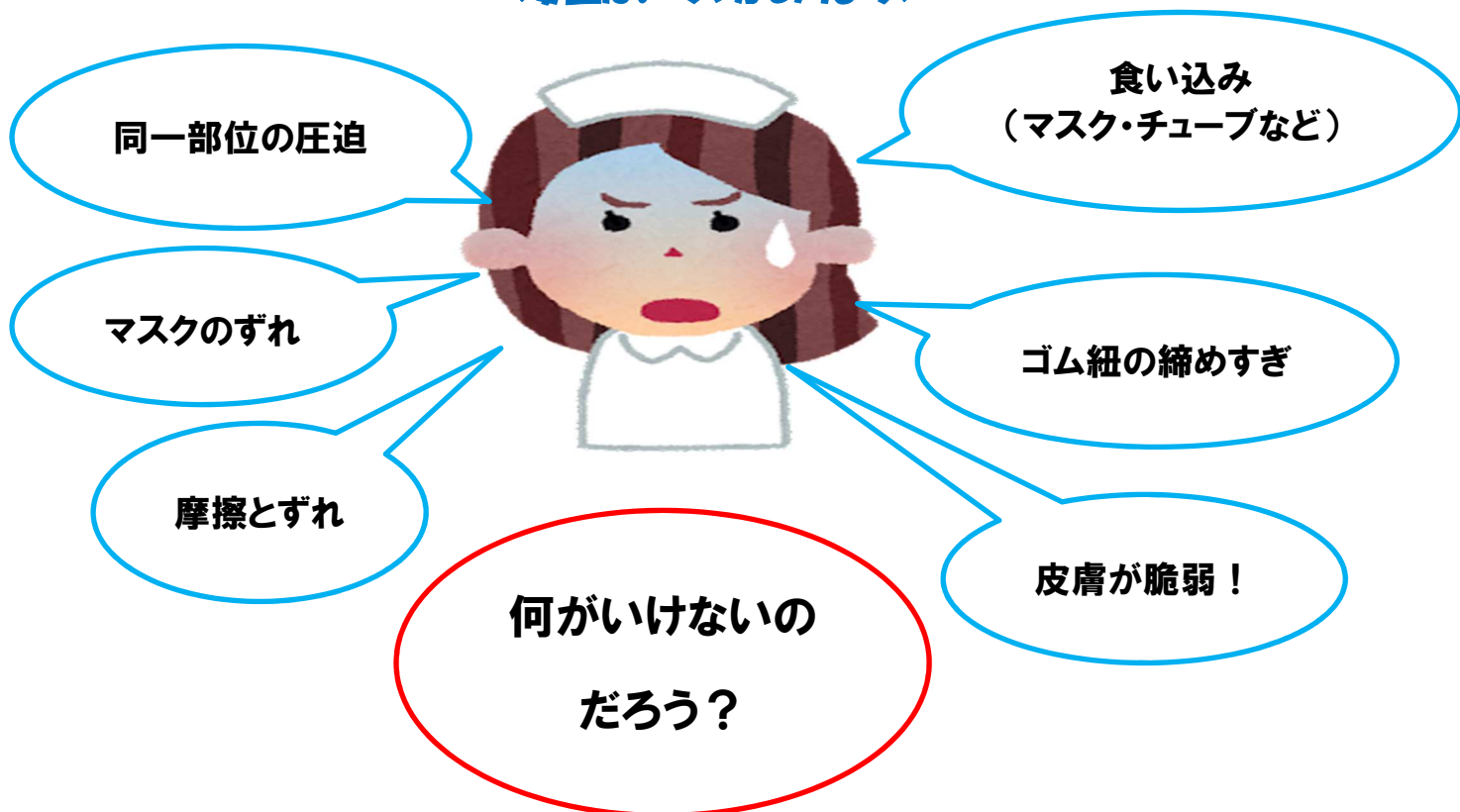
原因は

酸素マスク、動静脈ライン、挿管チューブ、NIPPVのマスク、予防的弾性ストッキング

発生部位は

耳介、鼻骨、手指、腹部、胸部、膝下、下腿、足趾など多岐にわたる

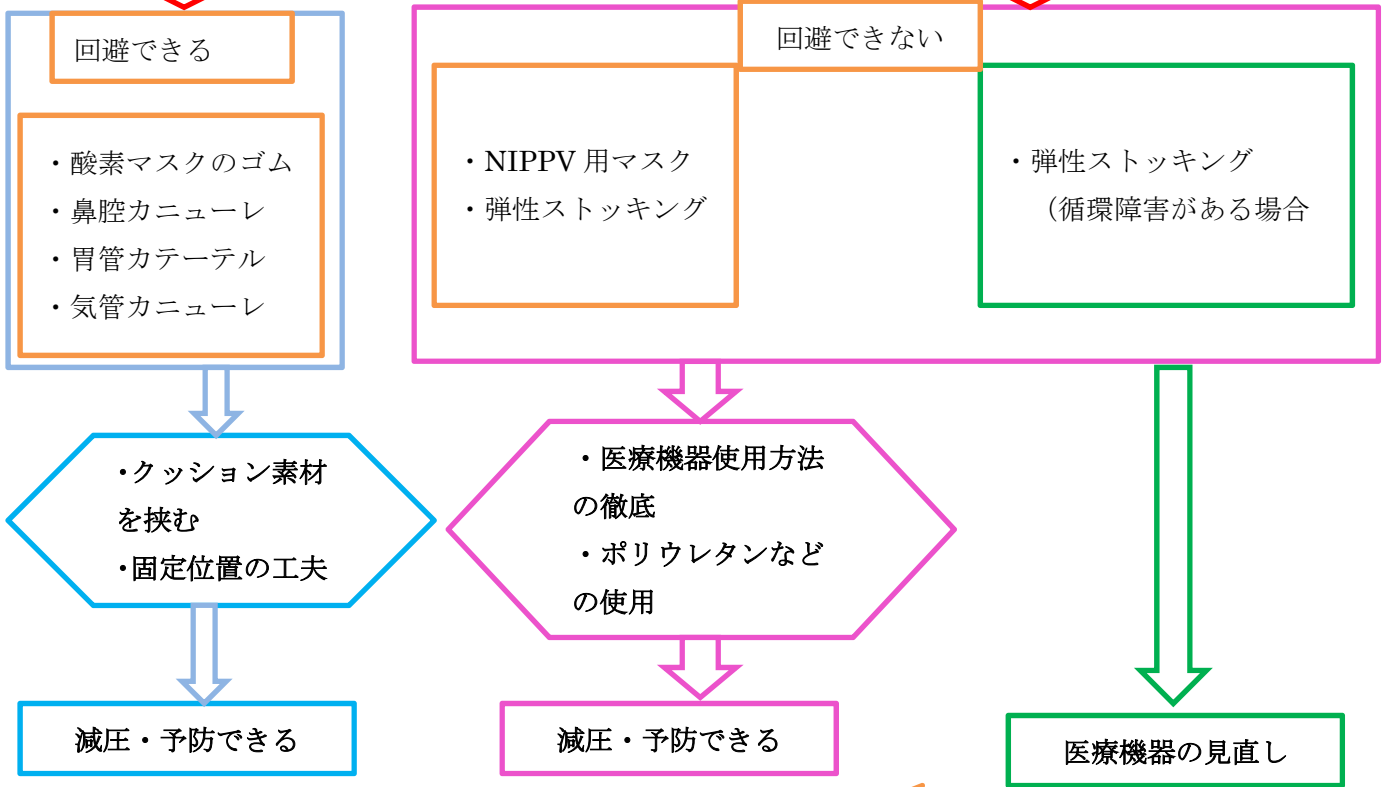
〈要因はいくつかあります〉





屈曲する部分にハイガーゼを当てる

医療関連機器の圧迫



対策 発生する前に常日頃から皮膚の観察をおこなう

発赤が出来てしまったらクッション材を使用する

皮膚への圧迫、ずれによる二次的皮膚損傷を招かない様、予防的ケアを実践し皮膚損傷を回避する事が重要です。またケア用品の特性を考え、問題解決に有効な用品使用と工夫を検討する事も大切です!! 何かあれば褥瘡対策委員会にご相談下さい。